



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年11月6日

上場会社名 株式会社 テスク

上場取引所 名

コード番号 4349 URL <http://www.kktisc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅田 源

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 岡本 匡弘

TEL 052-651-2131

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	588	11.3	25	61.1	30	45.1	31	26.4
29年3月期第2四半期	528	13.5	15	69.8	20	15.3	24	143.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	9.32	
29年3月期第2四半期	7.18	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,160	849	73.2
29年3月期	1,192	829	69.6

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 849百万円 29年3月期 829百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		6.00	6.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,250	6.2	75	14.9	80	9.9	50	12.9	14.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	3,500,000 株	29年3月期	3,500,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	112,858 株	29年3月期	112,858 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	3,387,142 株	29年3月期2Q	3,482,142 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策や日銀による金融政策を背景に企業業績は好調に推移し、雇用・所得環境の改善による下支え等もあり、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社の主要顧客である流通業界におきましては、人手不足による人件費高騰により、業務の効率化を進めるための店舗・設備投資とともにIT投資意欲は比較的堅調に推移いたしました。また、当情報サービス業界におきましては、企業のIT投資が堅調に推移いたしましたが、エンジニア不足による人材の確保が課題となっております。

このような状況下、当社におきましては、社員教育投資、当社オリジナルパッケージ・ソフトウェアである小売業向けのCHAINSⅢ+及び卸売業・メーカー向けのGROWBSⅢへの研究開発投資の効果もあらわれ、受注は好調に推移いたしました。特に、2017年4月に新規リリースしたGROWBSⅢについては、バージョンアップ後初の受注に成功し、納品に向けてプロジェクトが進捗しております。この先の見込み案件も多く、今後も好調に受注を確保している見通しですが、顧客の業務を深く理解したうえで高付加価値なソフトウェアを提供しなければならない事業特性上、プロジェクトマネジメントを行うことのできる専門性の高い社員数を急に増やすことはできず、限られた要員数で事業を行っています。そのため、売上高の伸びは限定的となりました。

今後とも当社は、「量販型の流通業のお客様に特化した総合ITベンダー」として、地に足を付けて以下の施策に取り組むことで、社会から必要とされる会社としてあり続ける努力を継続します。

- ① 当社オリジナルのパッケージ・ソフトウェアへの研究開発投資による機能強化とサービス提供範囲を拡大するとともに、新しいサービスを創出します。
- ② 魅力ある製品、サービスを提供するため、社員教育に経営資源を投下してテクニカルスキル及びビジネススキルの向上を図ります。そして、「量販型の流通業のお客様に対するITサービスを提供するプロフェッショナル集団」を目指します。
- ③ 顧客満足度を高めるため、システム開発プロセスの標準化を推進したうえで、PMO (Project Management Office) を活用したより効率的なプロジェクトマネジメントの仕組みを構築し、リーズナブルで高品質な製品を提供してまいります。

当第2四半期累計期間においても上記の施策を実施することにより、各プロジェクトの効率的な運営を行うことができました。

このような結果、当事業年度の売上高は5億88百万円（前年同期比111.3%）となりました。利益面では、当社パッケージ・ソフトウェア製品の研究開発投資額を増額しましたが、プロジェクトマネジメントの改善による各プロジェクトの利益率が改善されたことにより、営業利益は25百万円（前年同期比161.1%）、経常利益は30百万円（前年同期比145.1%）となりました。また、投資有価証券の売却により四半期純利益は31百万円（前年同期比126.4%）となりました。

今後とも、更なるパッケージ・ソフトウェアの強化と個別のお客様への対応を着実に実行し、新規のお客様のシステム再構築へのタイミングを捉えた提案を加速してまいります。

### (2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月11日の決算短信で発表しました、通期の業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	244,410	259,161
受取手形及び売掛金	287,343	218,106
商品及び製品	344	768
仕掛品	15,050	27,586
その他	86,047	80,968
流動資産合計	633,197	586,590
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	67,441	64,472
土地	116,436	116,436
その他(純額)	68,264	59,714
有形固定資産合計	252,142	240,622
無形固定資産	51,597	76,497
投資その他の資産		
投資有価証券	240,492	233,669
その他	15,100	23,639
貸倒引当金	△173	△173
投資その他の資産合計	255,419	257,135
固定資産合計	559,159	574,255
資産合計	1,192,356	1,160,845
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	63,757	49,020
1年内返済予定の長期借入金	6,464	—
未払法人税等	24,558	16,836
賞与引当金	50,240	52,004
その他	156,186	138,795
流動負債合計	301,205	256,656
固定負債		
リース債務	45,687	35,933
その他	15,506	18,408
固定負債合計	61,194	54,342
負債合計	362,400	310,998

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	302,000	302,000
資本剰余金	106,146	106,146
利益剰余金	406,830	418,092
自己株式	△23,785	△23,785
株主資本合計	791,191	802,453
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38,765	47,393
評価・換算差額等合計	38,765	47,393
純資産合計	829,956	849,847
負債純資産合計	1,192,356	1,160,845

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	528,619	588,176
売上原価	347,921	374,790
売上総利益	180,698	213,386
販売費及び一般管理費	164,904	187,940
営業利益	15,793	25,445
営業外収益		
受取利息	8	6
受取配当金	4,014	4,195
その他	1,490	1,072
営業外収益合計	5,512	5,275
営業外費用		
支払利息	162	162
その他	286	294
営業外費用合計	448	457
経常利益	20,857	30,262
特別利益		
投資有価証券売却益	18,722	13,300
特別利益合計	18,722	13,300
税引前四半期純利益	39,580	43,563
法人税、住民税及び事業税	5,527	10,978
法人税等調整額	9,066	1,000
法人税等合計	14,594	11,978
四半期純利益	24,986	31,584

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	39,580	43,563
減価償却費	22,018	31,375
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,395	1,764
その他の引当金の増減額(△は減少)	△2,696	—
受取利息及び受取配当金	△4,022	△4,202
支払利息	162	162
投資有価証券売却損益(△は益)	△18,722	△13,300
売上債権の増減額(△は増加)	68,148	74,072
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,453	△12,958
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,792	△17,459
その他	△64,527	△27,162
小計	9,299	75,855
利息及び配当金の受取額	4,027	4,204
利息の支払額	△162	△162
役員退職慰労金の支払額	△560	—
法人税等の支払額	△20,851	△17,204
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,246	62,692
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△11,439	△2,791
無形固定資産の取得による支出	△29,706	△40,452
投資有価証券の取得による支出	△3,765	△789
投資有価証券の売却による収入	20,880	33,327
その他	1,117	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,913	△10,706
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△6,504	△6,464
配当金の支払額	△20,936	△20,213
その他	△9,315	△10,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,755	△37,234
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△67,916	14,750
現金及び現金同等物の期首残高	195,592	184,410
現金及び現金同等物の四半期末残高	127,675	199,161



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。